®環境省
エコアクション21
認証番号　0001312

2020年度

環境経営レポート

（2020.5.1 ～ 2021.4.30）

宮川工業株式会社
MIYAKAWA Industries Co.,Ltd.

2021年6月25日

〈第16版〉

目　次

No.	項　　目	頁
Ⅰ.	組織の概要	2 ページ
Ⅰ－（1）	会社概要	2 ページ
Ⅰ－（2）	沿革	2 ページ
Ⅰ－（3）	事業内容	2 ページ
Ⅰ－（4）	主要製品	2 ページ
Ⅰ－（5）	事業形態	3 ページ
Ⅰ－（6）	敷地概要	3 ページ
Ⅰ－（7）	実施体制の構築（組織図）	4 ページ
Ⅱ	環境経営方針	5ページ
Ⅲ	環境経営目標	6 ページ
Ⅳ	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	7 ～10ページ
Ⅴ	環境経営計画の実績・取組結果（月次グラフ）	11 ページ
Ⅵ	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	12～13 ページ
Ⅶ	設備投資(省エネ)・中長期計画	14 ページ
Ⅷ	環境関連法規等	15 ページ
Ⅸ	代表者による全体評価と見直し・指示	16 ページ

Ⅰ. 組織の概要

Ⅰ.(1) 会社概要

会社名　　:宮川工業　株式会社
対象事業所　:岡部工場　　静岡県藤枝市岡部町岡部1058-27
　　:本社/静岡工場　　静岡市葵区富厚里1317-8
　　:SLC(静岡ロジスティックセンター)　静岡市葵区富厚里塩沢口1477
設立　　:昭和37年8月
資本金　　:12.000千円
売上額　　:1.517.415千円　(2021年4月期)
代表者　　:代表取締役　宮川昌久
従業員数　　:80名
地域指定　　:岡部工場　　準工業地域
　　:本社/静岡工場/SLC　工業地域
敷地面積　　:4,490㎡　(静岡・岡部工場合算分)
建物面積　　:3,253㎡　(静岡・岡部工場合算分)
延床面積　　:4,417㎡　(静岡・岡部工場合算分)
生産施設面積　:2,587.78㎡
緑地面積　　:1,029㎡
環境施設面積　:調整池　206.7㎡(掘り込み式調整量167㎥)
環境管理責任者:製造部長　山田幸秀
連絡先　　:TEL　054-667-0224　　メールアドレス:yamaday@mk-inc.co.jp
対象範囲　　:2011年2月2日以降全社が対象範囲となる
　　(本社(静岡工場)は2010年5月1日より運用)

Ⅰ.(2) 沿革

昭和16年　3月　:　東京都渋谷区にて個人創業
昭和22年　7月　:　静岡市に移転　称号を宮川プレス
昭和37年　7月　:　法人改組　資本金600万円で有限会社宮川工業所設立
昭和50年　7月　:　藁科金属工業団地に本社工場移転設立
昭和59年　5月　:　サクションマフラー(SUC･MUFF)の一貫生産開始
昭和61年　5月　:　資本金1200万円に増資
平成　5年　6月　:　岡部工場建設
平成13年10月　:　ISO9001取得
平成16年　9月　:　金型工場増設
平成17年　1月　:　経営革新計画承認企業となる
平成18年　3月　:　精密部品加工設備(レーザー加工機他)
平成19年　2月　:　エコアクション21認証登録取得
平成22年　5月　:　本社・静岡工場/SLCエコアクション活動キックオフ
平成23年　2月　:　全社・全組織がエコアクション21認証登録取得
平成25年10月　:　Miyatech(Thailand)工場設立
平成29年　8月　:　宮川高明社長が会長に就任　宮川昌久専務が新社長就任

Ⅰ.(3) 事業内容

金属プレス加工及び溶接組立と金型製作

Ⅰ.(4) 主要製品

■エアコン・コンプレッサー用サクションマフラー
■通信機器精密部品の試作品
■深絞り技術と炉中ロー付けによる圧力容器アセンブリ
■一般金属金型製作
■自動車の金属プレス及びブレージング加工

Ⅰ.(5) 事業形態

(1)事業年度　　:5月から翌年4月
(2)年間稼動日数　:259日
(3)就業形態　　:1シフト／(2～3シフト)
(4)就業時間　　:8:00　～　17:00／(20:00～5:00)

Ⅰ.(6)　敷地概要

岡部工場

◎都市計画法での用途地域指定　　準工業地域
◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
・騒音　:　第3種区域
・振動　:　第2種区域の1
・水質　:　志太水域

本社・静岡工場・SLC

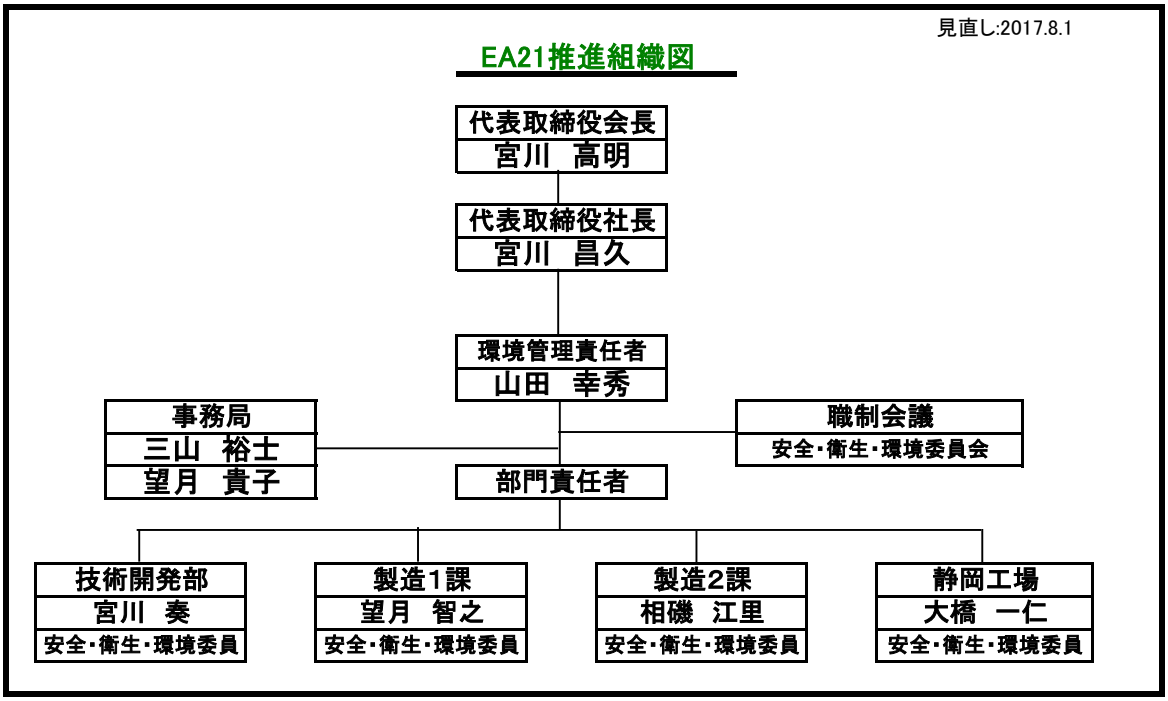
◎都市計画法での用途地域指定　　工業地域
◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
・騒音　:　第3種区域
・振動　:　第2種区域の1
・水質　:　藁科水域

静岡工場

Ⅰ.(7) 実施体制の構築

承認	作成
宮川	山田

(1)環境経営システムの組織と役割・責任及び権限



(2)実施体制における各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

①社長
- ・環境経営方針・環境経営目標の決定
- ・環境経営計画の承認　　・実施体制の構築
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・環境経営マニュアルの承認及び全体評価と見直し・指示
- ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者
- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案
- ・環境経営計画の推進状況把握と環境経営システムの見直しのための社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導

③推進事務局
- ・環境経営システムに関するデータ一及び文書記録の作成管理
- ・更新審査・中間審査の更新手続き

④部門管理者
- ・環境経営計画の推進と必要とする資源の計画
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

⑤推進会議
- ・職制会議　　:　1回/月
- ・安全・衛生・環境会議　:　1回/月

⑥事務、作業員
- ・エコ活動の推進、実践　　:節水、消灯、機械停止、廃棄物、ムダ等の削減に勤める
- ・各作業の中での改善　　:ムダな作業、不良発生に対し改善活動の推進

Ⅱ. 環境経営方針

■環境理念

宮川工業株式会社の全社員は、地球環境の保全が人類共通の重要課題である事を認識し、環境負荷の継続的低減に努め、事業経営との共生を図り、持続的に発展できる経済社会の実現に寄与する。

■基本方針

宮川工業株式会社は、家電、自動車及び通信機器の金属部品製造に関わる事業活動の中で、その製造が環境に与える影響を明確にとらえ、地球環境や資源の保護ならびに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の継続的な向上を図る。

1. エコアクション21に基づき「環境マネジメントシステム」を確立し、全社員参加の継続的改善を行い、環境保全と汚染の予防に努めます。

2. 当社の生産性と製品にかかわる環境関連法規等及び当社が受入を決めた基準を遵守します。

3. 当社の生産と製品が環境に与える影響を的確にとらえ、環境経営目標・環境経営計画を策定して実施するとともに定期的見直しを行います。

4. 当社の企業活動が与える環境影響の中で次の項目を環境管理重点項目として推進致します。

   ○ガス・電気・水・燃料等、資源やエネルギーの使用量を低減致します。

   ○資源の有効活用を図るため、製品の歩留まり率の向上を図ります。

   ○廃棄物・排出量の削減及びリサイクルに努めます。

   ○環境保全のための社内教育を推進致します。

   ○有害な化学物質使用量の削減に努めます。

   ○環境に配慮した製品の開発及び販売に努めます。

5. この環境経営方針は全従業員に周知するとともに、一般に公開致します。

制　　定：2006年6月 2日
改　　定：2018年6月22日

宮 川 工 業 株 式 会 社

代表取締役
宮 川 昌 久

Ⅲ. 環境経営目標

（1）全　体

目標の設定に当っては、2017年度の実績を基準値として設定した。

環境経営目標項目		単位	2017年度 基準年	2018年度 目標値 / 実績値	2019年度 目標値 / 実績値	**2020年度 目標値 / 実績値**
二酸化炭素排出削減(省エネルギ	削減率			-2.0%	-4.0%	**-6.0%**
二酸化炭素排出削減	目標値	kg-CO2		1,263,393	1,237,610	1,211,826
	実績値		1,289,177	1,244,846	1,091,320	1,185,134
電力消費量の削減	目標値	KWh	---	2,186,887	2,142,256	2,097,626
	実績値		2,231,517	2,153,452	1,900,997	2,083,344
ガソリン消費量の削減	目標値	ℓ	---	8,151	7,984	7,818
	実績値		8,317	7,415	6,366	6,138
軽油消費量の削減	目標値	ℓ	---	13,936	13,651	13,367
	実績値		14,220	12,043	9,661	11,918
プロパンガス削減	目標値	kg	---	26,471	25,931	25,390
	実績値		27,011	28,263	23,570	21,714
廃棄物排出量削減	削減率			-2.0%	-4.0%	**-6.0%**
循環資源量の削減 （廃金属・金属くず等）	目標値	t	---	689.6	675.6	661.5
	実績値		703.7t	724.4	658.7	717.3
雑品処理量 （廃プラ・木屑・紙等）	目標値	t	---	4.71	4.62	4.52
	実績値		4.81t	6.50	8.24	11.47
水使用量削減 （節水）	削減率			-2.0%	-4.0%	**-6.0%**
上水使用量の削減	目標値	㎥	---	2,149	2,105	2,061
	実績値		2.193㎥	2,410	3,458	3,485
化学物質使用量削減	削減率			-2.0%	-4.0%	**-6.0%**
ペーパーフラックスBL-5削減	目標値	ℓ	---	1,317	1,290	1,263
	実績値		1.344㌔	1,296	630	432
製品・サービスへの環境配慮	改善率			10.0%	20.0%	**30.0%**
改善提案制度の確立 製造・6S・安全・エコ他	目標値	件	---	106	115	125
	実績値		96件	110	120	134

注-①購入電力の二酸化炭素排出係数は0.516(kg-CO2/kwh)を使用した

Ⅵ. 次年度の環境経営目標

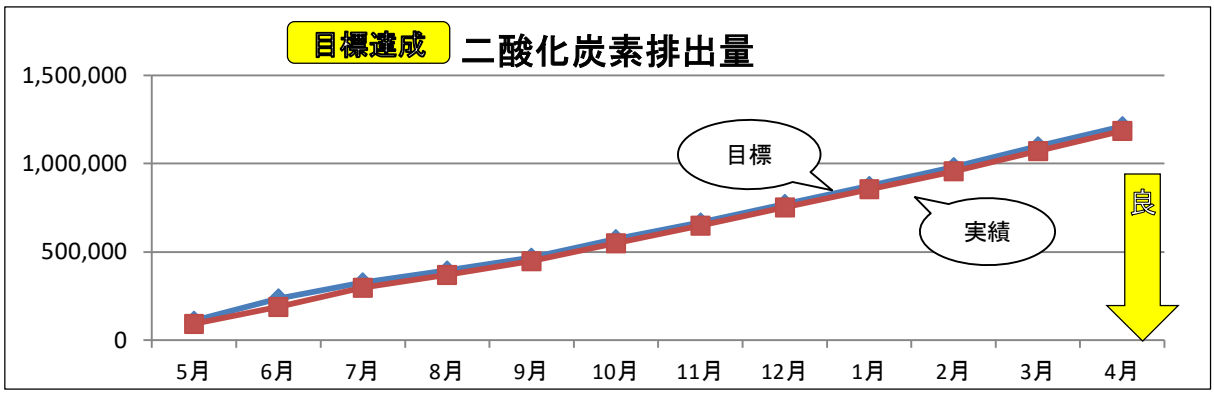
（1）全　体

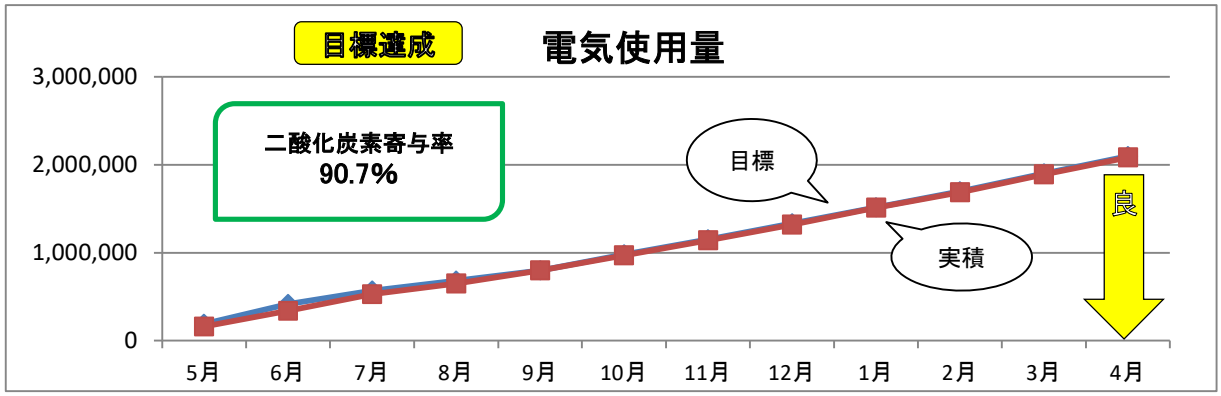
目標の設定に当っては、2020年度の実績を基準値として設定した。

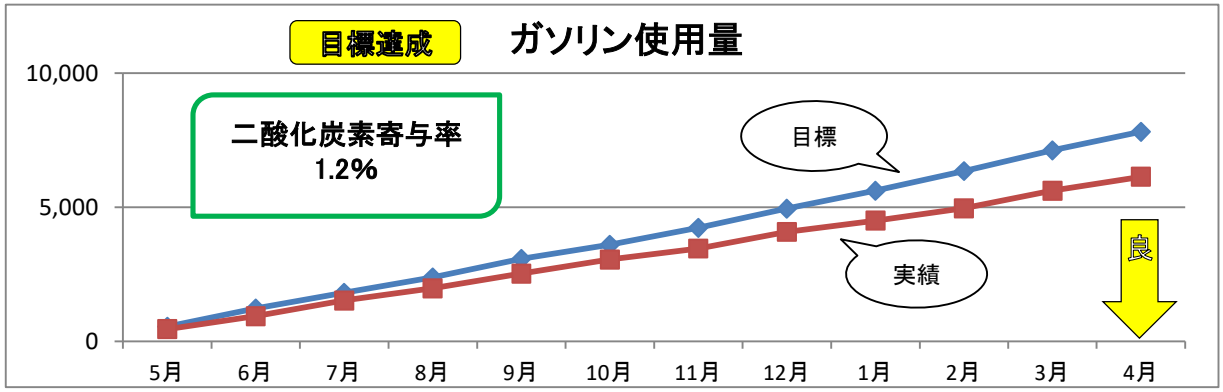
環境経営目標項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			基準年	目標値 / 実績値	目標値 / 実績値	**目標値 / 実績値**
二酸化炭素排出削減(省エネルギ	削減率			−2.0%	−3.0%	−4.0%
二酸化炭素排出削減(CO2−kg)	目標値	kg−CO2		**1,161,431**	**1,149,580**	**1,137,729**
	実績値		**1,185,134**			
電力消費量の削減	目標値	KWh	---	**2,041,677**	**2,020,844**	**2,000,010**
	実績値		**2,083,344**			
ガソリン消費量の削減	目標値	ℓ	---	**6,015**	**5,954**	**5,892**
	実績値		**6,138**			
軽油消費量の削減	目標値	ℓ	---	**11,680**	**11,560**	**11,441**
	実績値		**11,918**			
プロパンガス削減	目標値	kg	---	**21,280**	**21,063**	**20,845**
	実績値		**21,714**			
廃棄物排出量削減	削減率			−2.0%	−4.0%	−6.0%
循環資源量の削減	目標値	t	---	**703.0**	**688.6**	**674.3**
	実績値		**717.3t**			
雑品処理量（紙等）	目標値	t	---	**11.24**	**11.01**	**10.78**
	実績値		**11.47t**			
水使用量削減 （節水）	削減率			−30.0%	−35.0%	−35.0%
上水使用量の削減	目標値	㎥	---	**2,440**	**2,265**	**2,091**
	実績値		**3.485㎥**			
化学物質使用量削減	削減率			−5.0%	−10.0%	−15.0%
ペーパーフラックスBL−5削減	目標値	ℓ	---	**410**	**389**	**367**
	実績値		**432ﾘｯﾄﾙ**			
製品・サービスへの環境配慮	改善率			1.0%	1.0%	1.0%
改善提案制度の確立 製造・6S・安全・エコ他	目標値	件	---	**135**	**135**	**135**
	実績値		**134件**			

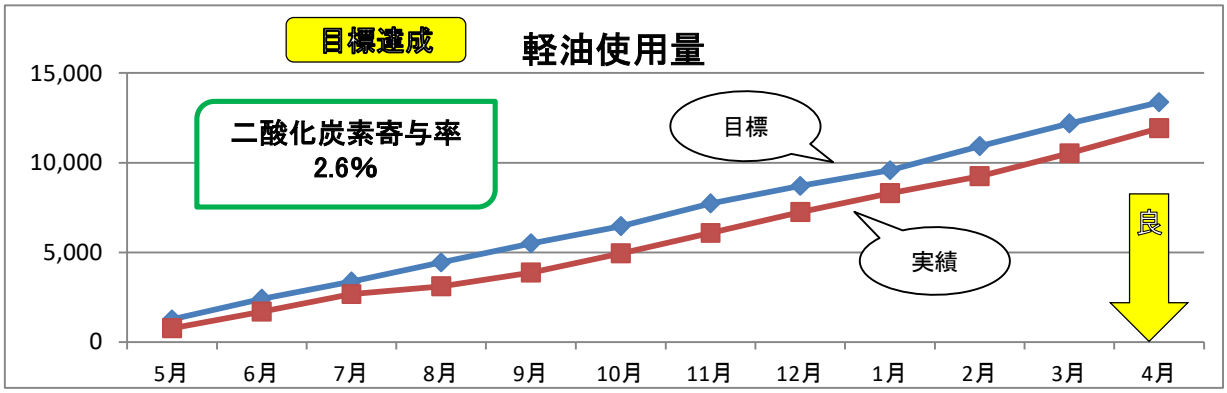
注−①購入電力の二酸化炭素排出係数は2021年より0.426(kg−CO2/kwh)を使用する。

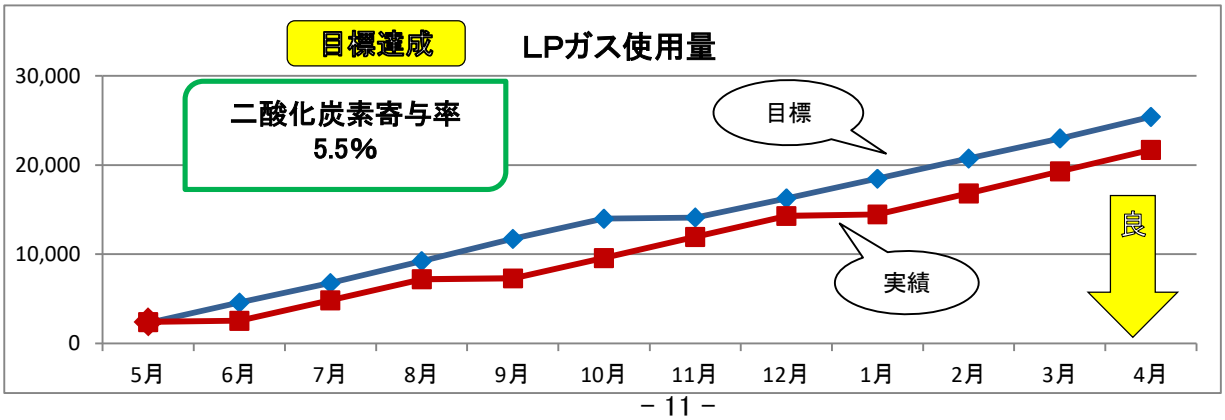
Ⅴ． 環境経営計画の実績・取組結果（月次グラフ）











Ⅵ. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

当年度(2020年度)の取組内容	評価	推進部門	評価内容	次年度(2021年度)の取組内容	
※二酸化炭素排出量削減	○	全社	目標値に対し2.2%の削減 デマンドの有効活用により 電力使用の認識が高まる。	デマンド作動時の処理の徹底 (最大値の削減) エアコン・照明機器を 省エネタイプへ変更	継続
※電力消費量の削減 デマンド作動時の処理徹底 照明・エアコンの節電 照明機器を省エネタイプへ	○	全社	目標値に対し0.6%の削減 夏期・冬季対応のエアコン温度設定 昼休みの消灯徹底 エアコン他の省エネタイプへ エアコンフィルター清掃	デマンド作動時の処理の徹底 (最大値の削減) エアコン・照明機器を 省エネタイプへ変更(順次)	継続
※プロパンガスの削減 フォークリフトの作業効率UP (急発進・急加速厳禁) 炉中・GWLの効率UP	○	製造・生管	目標値に対し14.5%の削減 生産量増大の為 設備の効率改善に IOTを検討し、設置した。	生産数UPの為、目標設定値の 変更を随時検討 (明確な数値確認後)	継続
※ガソリン消費量の削減 不要なアイドリング 急発進・急加速厳禁 空気圧のチェック 不要な外回り活動の改善	○	生産管理課	目標値に対し21.5%の削減 社用車の運行日報のチェック 社用車の運転方法のチェック 不要な外回りを減少させた。	社用車の使用方法を再確認 引き続きエコ対応の推進	継続
※軽油消費量の削減 不要なアイドリング 急発進・急加速厳禁 空気圧のチェック 納入ルート・頻度の見直し	○	生産管理課	目標値に対し10.8%の削減 納入頻度・ルートの見直し (三菱・外注先他) 納入ルールの徹底 納入トラックを外部に委託	納入車の使用方法を再確認 引き続きエコ対応の推進	継続
※廃棄物排出量削減 (循環資源量の削減) 不良削減の為の倉庫管理 製造不良の削減	×	全社	目標値に対し8.4%のオーバー 定期的に廃棄物の処理を実施 (各課からの集約)	倉庫管理の徹底 定期的に廃棄・不要物の集約 (各課より精査して集約)	継続
※廃棄物排出量削減 (雑品処理量の削減) 不良削減の為の倉庫管理 製造不良の削減	×	全社	目標値に対し78.4%のオーバー 定期的に廃棄物の処理を実施 (各課からの集約) JIT活動により処分量が増えた 一括廃棄を実施	倉庫管理の徹底 不良削減 定期的に廃棄・不要物の集約	継続
※水使用量(上水使用量の削減) 流量計数値の毎日確認 各部署での節水の意識付け	×	全社	目標値に対し69.1%のオーバー 製造を含めた、使用場所毎に 節水の意識を持たせる。 岡部工場循環ポンプ停止の為流出	毎日の使用頻度の高い場所を 見極め注意喚起を促す。 毎日、メーターチェックの実施	継続
※化学物質使用量削減 (ペーパーフラックス削減) 使用部署での管理の徹底 無駄な使用の厳禁	○	製造部	目標値に対し831㍑の削減。 使用量が大幅に減少 使用に対しての細心の注意を 払うように指導を行った。	今後は使用量が少ない為、 数値管理を廃止して監査物質 購入管理に変更いたしました	継続
※製品・サービスの環境配慮 改善提案制度の確立	○	総務課	目標値に対し9件のアップ 製造効率アップにつなげる 6S改善の実施に伴い環境へ配慮	各担当部署からの月1件の提案 改善効率を上げる事を目標に	継続

Ⅳ. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

評価凡例　目標値達成：○　未達成5%未満：△　未達成６%以上：×

環境経営目標の項目	推進部門	環境経営目標 環境経営計画		目標値 実績値	2020/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月	4月	年度評価
					2020年度（2020年5月 ～ 2021年4月）環境経営計画／実績と評価												
二酸化炭素 排出量削減（省エネルギー） ※電力排出係数 中部電力 H25年度・実排出 **0.516 kg-CO2/kwh**	全社	環境経営目標	基準値・基準年 2017年度 **1.289.177Kg-CO^2** ・目標値：1,211,826kg-CO ・実績値：1,185,134kg-CO	目標 単月	110,614	127,058	90,183	67,746	72,947	104,052	95,083	103,871	103,372	105,942	116,762	114,195	達成
				目標 累計	110,614	237,672	327,855	395,601	468,547	572,599	667,683	771,554	874,926	980,868	1,097,630	1,211,825	
				実績 単月	92,727	96,541	108,954	71,686	79,459	100,701	98,965	102,642	103,318	100,637	116,933	112,570	
				実績 累計	92,727	189,268	298,222	369,908	449,367	550,068	649,033	751,675	854,994	955,631	1,072,564	1,185,134	
				累計目標比：%	−16.17	−20.37	−9.04	−6.49	−4.09	−3.93	−2.79	−2.58	−2.28	−2.57	−2.28	−2.20	
				評価レベル（単月比）	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
・電力消費量削減	全社	環境経営目標	基準値・基準年 2017年度 **2,231,517kWh** ・目標値：2,097,626kwh ・実績値：2,083.344kwh	目標 単月	192,144	224,073	154,462	108,879	118,334	181,397	174,301	180,592	179,988	182,099	203,105	198,251	達成
				目標 累計	192,144	416,218	570,680	679,559	797,893	979,290	1,153,592	1,334,183	1,514,172	1,696,270	1,899,375	2,097,626	
				実績 単月	159,720	179,517	190,342	121,068	147,077	174,149	170,488	176,620	192,193	174,360	203,022	194,788	
				実績 累計	159,720	339,237	529,579	650,647	797,724	971,873	1,142,361	1,318,981	1,511,174	1,685,534	1,888,556	2,083,344	
				累計目標比：%	−16.88	−18.50	−7.20	−4.25	−0.02	−0.76	−0.97	−1.14	−0.20	−0.63	−0.57	−0.68	
				評価レベル（単月比）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		環境経営計画	1,契約最大電力量の低減(デマンド作動時の処理徹底)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,空調機の適正温度運転(冷房時 28℃,暖房時 20℃)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,空調機のフィルター清掃（ 季節ごと、1回 ／ 3ヶ月		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			4,照明の節電(昼休み消灯、残業時の不用照明消灯、他)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			5,工場内の局部不要照明の消灯		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			6,不稼動設備の電源OFFの励行		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			7,工場内の、不要設備・照明の電源Off励行		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価レベル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価レベル			○			○			○			○		
			評価コメント（是正処置・予防処置含む）		※ 蛍光灯LED照明に変更(一部)した為削減されている。 ※ 各部署での、節電に対する認識が高まっている。 ※ 前年よりは高いが目標値はクリア			→ → →			※ 特記事項 LED照明への変更（随時見積） 岡部工場・静岡工場・SLC 目標値と併設に昨年実績を比較対象に置いてあります。					
・ガソリン消費量削減	生産管理	環境経営目標	基準値・基準年 2017年度 **8,317ﾘｯﾄﾙ** ・目標値：7,818 ﾘｯﾄﾙ ・実績値：6,138 ﾘｯﾄﾙ	目標 単月	546	680	589	572	687	524	638	711	673	734	774	689	達成
				目標 累計	546	1,226	1,814	2,387	3,074	3,598	4,235	4,946	5,620	6,354	7,128	7,818	
				実績 単月	451	479	590	452	552	522	412	625	423	460	655	518	
				実績 累計	451	930	1,520	1,973	2,525	3,047	3,458	4,083	4,506	4,965	5,620	6,138	
				累計目標比：%	−17.4	−24.1	−16.2	−17.4	−17.8	−15.3	−18.3	−17.5	−19.8	−21.9	−21.2	−21.5	
				評価レベル（単月比）	△	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
		環境経営計画	1,不要なアイドリングはしない。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,タイヤの空気圧のチェック		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,急発進、急加速はやめる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			4,車間距離は余裕を持つ運転		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			5,夏のカーエアコンは設定を1℃高めに設定する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			6,エンジンブレーキを積極的に使用する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			7,現場対応荷物の事前確認でミス・過剰運行を無くす		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価レベル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価レベル			○			○			○			○		
			評価コメント（是正処置・予防処置含む）		新型コロナの影響？ ※ 社用車の使用頻度を控えた。（納入・外回りの仕事の効率化）（ドライバーへの呼びかけ） ※ チェックシート（行先・使用者・距離他）			→			※ 特記事項 目標値と併設に昨年実績を比較対象に置いてあります。					

環境経営目標の項目	推進部門	環境経営目標 環境経営計画		目標値 実績値	2020年度（2020年5月 ～ 2021年4月）環境経営計画／実績と評価 2020/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月	4月	年度評価
・軽油消費量削減	生産管理	環境経営目標	基準値	目標 単月	1,257	1,143	966	1,070	1,060	969	1,251	975	888	1,339	1,267	1,181	達成
			・基準年	目標 累計	1,257	2,400	3,366	4,437	5,497	6,466	7,717	8,692	9,580	10,919	12,186	13,367	
			2017年度	実績 単月	759	923	992	423	768	1,066	1,143	1,168	1,053	946	1,280	1,397	
			14,220 ﾘｯﾄﾙ	実績 累計	759	1,682	2,674	3,097	3,865	4,931	6,074	7,242	8,295	9,241	10,521	11,918	
			・目標値：13,367 ﾘｯﾄﾙ	累計目標比：%	−39.61	−29.92	−20.58	−30.20	−29.69	−23.74	−21.29	−16.68	−13.42	−15.37	−13.66	−10.84	
			・実績値：11,918 ﾘｯﾄﾙ	評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		環境経営計画	1,不要なアイドリングはしない。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,タイヤの空気圧のチェック		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,急発進、急加速はやめる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			4,車間距離は余裕を持つ運転		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			5,夏のカーエアコンは設定を1℃高めに設定する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			6,エンジンブレーキを積極的に使用する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			7,現場作業車の配車を削減する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			8,現場対応荷物の事前確認でミス・過剰運行を無くす		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価ﾚﾍﾞﾙ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価ﾚﾍﾞﾙ		○			○			○			○			
			評価コメント （是正処置・予防処置含む）		新型コロナの影響？ ※ ドライバーの意識の高揚。 （通常使用のトラック3台分） ※ 走行中及び停車時の エコに対する細心の注意 ※ 配送車の定時走行の効率化 （納入ルート・納入頻度他）			→ →			※ 特記事項 目標値と併設に昨年実績を 比較対象に置いてあります。			※ 配送トラックを 2020年の9月以降 全て自社便に変更して運行 しかし、配送ルート・頻度の 見直しを実施し、目標内へ。			
・プロパンガス 消費量削減	製造部 生産管理	環境経営目標	基準値	目標 単月	2,299	2,284	2,191	2,474	2,501	2,229	127	2,157	2,200	2,252	2,278	2,398	達成
			・基準年	目標 累計	2,299	4,583	6,775	9,249	11,750	13,979	14,106	16,263	18,463	20,715	22,992	25,390	
			2017年度	実績 単月	2,436	139	2,270	2,358	101	2,293	2,363	2,348	150	2,387	2,451	2,418	
			27,011Kg	実績 累計	2,436	2,575	4,845	7,203	7,304	9,597	11,960	14,308	14,458	16,845	19,296	21,714	
			・目標値：25,390Kg	累計目標比：%	5.95	−43.82	−28.48	−22.12	−37.84	−31.35	−15.21	−12.02	−21.69	−18.68	−16.08	−14.48	
			・実績値：21,714kg	評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	△	○	△	○	○	×	×	○	△	△	△	○	
		環境経営計画	1,フォークリフトでの作業を効率化した。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,急発進、急加速はやめる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,炉中の生産効率を高める。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			4,GWLの作業効率を計る。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			5,製造数増大の為。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			11月は、在庫調整の為。								○						
			評価ﾚﾍﾞﾙ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価ﾚﾍﾞﾙ		△			○			×			○			
			評価コメント （是正処置・予防処置含む）		※ フォークリフトの作業改善。 （エコ運転の呼びかけ） ※ 炉中生産の効率化 （炉中生産順位の適正化） ※ GWL使用機種の増大による 使用量UP			→ → →			※ 特記事項 目標値と併設に昨年実績を 比較対象に置いてあります。						

環境経営目標の項目	推進部門	環境経営目標 環境経営計画	目標値 実績値	2020年度（2020年5月 ～ 2021年4月）環境経営計画／実績と評価 2020/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月	4月	年度評価
水使用量削減（節水）																
	全社	環境経営目標 ・基準値 ・基準年 2017年度 **2,193㎥** ・目標値：2,061㎥ ・実績値：3,485㎥	目標 単月	288	11	361	8	387	14	319	9	364	11	275	14	未達成
			目標 累計	288	299	660	667	1,055	1,069	1,387	1,397	1,761	1,772	2,047	2,061	
			実績 単月	739	15	702	10	754	13	374	13	405	12	435	13	
			実績 累計	739	754	1,456	1,466	2,220	2,233	2,607	2,620	3,025	3,037	3,472	3,485	
			実績 累計目標比：%	156.9	152.2	120.6	119.7	110.5	108.9	87.9	87.6	71.8	71.4	69.6	69.1	
			実績 評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		環境経営計画	1,毎日の使用量をメーターにて確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,各部署に節水を守らせる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,製造での使用の際、効率を計る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価ﾚﾍﾞﾙ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価ﾚﾍﾞﾙ		×			×			×			×		
			評価コメント （是正処置・予防処置含む）	※ 毎日の使用量確認を実施 （毎朝の同時間使用量を確認記録） ※ 製造以外での節水に努める。 （洗車、手洗い等呼びかけ			→水漏れチェックにより 早めの対応 →社内調査			※ 特記事項 目標値と併設に昨年実績を 比較対象に置いてあります。 月毎のばらつきは 2ヶ月毎指針の為。			※ 岡部工場敷地内の地下にて 水漏れが発生した為業者による 調査実施 （1月） ※ 埋設配管から露出に替え、漏れ のチェックを簡易にした。			
廃棄物排出量削減（リサイクル推進）																
・循環資源量の削減 （廃金属・金属くず等）	全社	環境経営目標 ・基準値 ・基準年 2017年度 **703.7t** ・目標値： 661.5t ・実績値： 717.3t	目標 単月	70.6	69.9	62.6	42.7	46.3	51.0	56.1	44.7	44.7	55.6	57.6	59.6	未達成
			目標 累計	70.6	140.5	203.1	245.8	292.2	343.2	399.3	444.0	488.7	544.3	601.9	661.5	
			実績 単月	52.6	65.8	57.1	38.1	48.3	63.1	66.2	68.3	49.5	60.9	69.0	78.4	
			実績 累計	52.6	118.4	175.5	213.6	261.9	325.0	391.2	459.5	509.0	569.9	638.9	717.3	
			実績 累計目標比：%	−25.49	−15.75	−13.60	−13.10	−10.35	−5.30	−2.03	3.50	4.15	4.71	6.15	8.44	
			実績 評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	○	○	○	○	○	△	○	×	△	○	×	×	
		環境経営計画	1,倉庫他の整理を実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,定期的に廃棄される不要物の確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,製造で出る廃棄物の内容確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価ﾚﾍﾞﾙ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価ﾚﾍﾞﾙ		○			○			△			△		
			評価コメント （是正処置・予防処置含む）	※ JIT活動により整理された 不要物の廃棄が多かった。 ※ ミヤテック生産増(タイエ場)による 影響で、廃棄物が増えた。			→ →			※ 特記事項 目標値と併設に昨年実績を 比較対象に置いてあります。 ミヤテック(タイエ場)製造増大分 に合わせて廃棄物が増えた。			※ 定期的に不要物・廃棄物の 見直しの実施 ※ 不良率の削減 在庫管理の徹底			
・雑品処理量(紙等) （廃プラ・木屑・紙等）	全社	環境経営目標 ・基準値 ・基準年 2017年度 **4.81t** ・目標値： 4.52t ・実績値： 11.47t	目標 単月	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.03	2.96	0.33	0.30	0.39	0.32	未達成
			目標 累計	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.19	0.22	3.18	3.51	3.81	4.20	4.52	
			実績 単月	0.59	1.07	0.76	0.74	0.78	1.05	0.74	1.04	1.15	1.64	0.89	1.04	
			実績 累計	0.59	1.66	2.42	3.16	3.94	4.98	5.72	6.75	7.90	9.54	10.43	11.47	
			実績 累計目標比：%	317.0	1,075.9	1,614.9	2,140.4	2,691.5	2,549.5	2,543.8	112.5	125.4	150.7	148.3	153.7	
			実績 評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
		環境経営計画	1,倉庫他の整理を実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,定期的に廃棄される不要物の確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,製造で出る廃棄物の内容確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価ﾚﾍﾞﾙ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		四半期総合評価	総合評価ﾚﾍﾞﾙ		×			×			○			×		
			評価コメント （是正処置・予防処置含む）	※ 不要物・廃棄物の処理 （年度内2回程度実施）			→ ※ 社内における定期的な処理実施			※ 特記事項 廃棄物、不要物は定期的に 処分を実施すると共に貯めない 事を周智する			※ 古紙・廃プラ・木屑等を ㎥をkg換算へ係数を 掛けて数値化している ※ 紙のペーパーレスの推進			

環境経営目標の項目	推進部門	環境経営目標 環境経営計画		目標値 実績値	2020/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月	4月	年度評価
					2020年度（2020年5月 ～ 2021年4月）環境経営計画／実績と評価												
化学物質の管理徹底																	
・ペーパーフラックス（BL-5）の削減	製造部	環境経営目標	基準値 ・基準年 2017年度 **1,344リットル** ・目標値：1,263ﾘｯﾄﾙ ・実績値：432ﾘｯﾄﾙ	目標 単月	180.5	135.4	135.4	135.4	90.2	90.2	90.2	45.1	90.2	45.1	135.4	90.2	達成
				目標 累計	180.5	315.8	451.2	586.6	676.8	767.0	857.3	902.4	992.6	1,037.8	1,173.1	1,263.4	
				実績 単月	48.0	48.0	48.0	0.0	48.0	48.0	48.0	0.0	48.0	48.0	0.0	48.0	
				実績 累計	48.0	96.0	144.0	144.0	192.0	240.0	288.0	288.0	336.0	384.0	384.0	432.0	
				実績 累計目標比：%	−73.40	−69.60	−68.09	−75.45	−71.63	−68.71	−66.41	−68.09	−66.15	−63.00	−67.27	−65.81	
				実績 評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		環境経営計画	1,使用部署で管理レベルの向上。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,使用に際しては、細心の注意を払う。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,製造での使用の際、改善効率を計る。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		評価ﾚﾍﾞﾙ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		総合評価 四半期	総合評価ﾚﾍﾞﾙ			○			○			○			○		
			評価コメント（是正処置・予防処置含む）		※ 細心の注意の上使用している。			→			※ 特記事項 入出庫管理の徹底			※ 仕様変更で使用量が大幅に減少した。			
製品・サービスへの環境配慮																	
・改善提案 製造効率のＵＰ 環境に配慮	総務課	環境経営目標	基準値 ・基準年 2017年度 **96件** ・目標値：125件 ・実績値：134件	目標 単月	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	達成
				目標 累計	11	22	33	44	55	65	75	85	95	105	115	125	
				実績 単月	12	12	12	10	10	11	11	11	10	11	12	12	
				実績 累計	12	24	36	46	56	67	78	89	99	110	122	134	
				実績 累計目標比：%	9.1	9.1	9.1	4.5	1.8	3.1	4.0	4.7	4.2	4.8	6.1	7.2	
				実績 評価ﾚﾍﾞﾙ（単月比）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		環境経営計画	1,各担当部署からの改善提案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2,製造効率のUP		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			3,6S改善の実施に伴い、環境に配慮		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			評価ﾚﾍﾞﾙ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		総合評価 四半期	総合評価ﾚﾍﾞﾙ			○			○			○			○		
			評価コメント（是正処置・予防処置含む）		※ 各担当部署積極的に改善提案の提出を呼びかけ			→			※ 特記事項 各課、毎月1件以上の目標			※ 改善提案制度の確立			
	山田	計画策定時	環境管理責任者	山田幸秀	実績記入時	環境管理責任者	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	
			社長	宮川昌久		社長		宮川			宮川			宮川			

Ⅶ. 設備投資(省エネ)・中長期計画

計画 - - - - - - - →　　実績 ———→

作成:2017/6/22
改訂:2021/6/25

	推進部門	設備投資 中長期計画	設備取得時期	2017年度 前期(～10月)	2017年度 後期(～4月)	2018年度 前期(～10月)	2018年度 後期(～4月)	2019年度 前期(～10月)	2019年度 後期(～4月)	2020年度 前期(～10月)	2020年度 後期(～4月)	2021年度 前期(～10月)	2021年度 後期(～4月)
工場共通設備機械	製造部	1,工場用空気圧縮機 NO,1											
		岡部工場エアータンク一本化	2019.4			実施済							
												工場全体計画順次実施予定	
		2、蛍光灯LED化 （省エネ）	2022.5										
工場共通運搬設備	製管	1,社有車・トラック(岡部工場)											
		2,社有車・営業車 （岡部工場）	2019.8			入れ替え 完了							
		3,社有車・トラック(静岡工場)	2019.9				3t車入れ替え 完了				エレベーター老朽化に伴い更新予定		
											安全性、省エネ性は最新式に!		
	製造部	1,岡部工場エレベーター更新	2022.8										
プレス設備	製造部	1,新規製品に対する設備改善		新規受注製品製作による設備導入									
		エアープレス	2018.9										
		2,新規製品に対する設備改善											
		プラグ挿入窒素封入機	2018.9							2020年. 12月完了			
		プラグ挿入窒素封入機（扁平）	2020.12										
加熱・ロー付設備	製造部	1,新規設備導入											
		150tプレス	2019.8					完了					
		2,ブレージング炉						レンガ方式変更			一号炉工事完了		
		煉瓦取り替え工事	2021.8										計画中
		3.冷却ゾーン入れ替え	2022.3										
その他設備 環境関係	全社	1,老朽化による設備改善											
		150tプレス（省エネ）	2019.8					完了					
		レベラーフィーダー	2019.8					完了		（省エネ）			
		2課検査室蛍光灯LED化	2020. 2 完								環境整備実施完了		
		1課換気設備（換気扇）	2021.5										
		休憩所設置	2021.8							環境整備実施完了			

山田	環境管理責任者	山田幸秀	実績記入時	環境管理責任者	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田
	社長	宮川昌久		社長	宮川		宮川		宮川		宮川		宮川		

2021年6月25日
宮川工業　株式会社
作成　　山田

Ⅷ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規等の名称	適用内容	備考（規制基準値、その他）	担当者	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守 収集運搬業者及び処分業者の委託契約 マニフェスト管理 マニフェストの保管 マニフェスト交付等状況報告	表示板掲示 （60cm以上） 契約書、業者の認可証 A,B2,D,E,票の保管 5年間の保管 4月から翌年3月の1年分を報告書にて報告する	総務部	○ 2021年 6/10 届出完
騒音規制法 静岡県生活環境保全条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守及び施設の届出。 （準工業地域の第3種区域）	特定施設 1-5　機械プレス　14台 1-11　旋盤　1台 1-12　ボール盤　2台 1-13　平削り板　2台 1-14　型削り板　4台 2　空気圧縮機　6台 14　冷凍機　5台 12　クーリングタワー　2台	製造部長	○
振動規制法 静岡県生活環境保全条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守及び施設の届出。 （県生活環境の保全等に関する条例での第2種区域の1）	特定施設 1-ロ　機械プレス　14台 1-ハ　せん断機　1台 2　圧縮機　6台	製造部長	○
水質汚濁防止法	特定施設からの水質汚濁に関する 規制基準の遵守及び届出。 排出水等の測定及び記録。 （志太水域）	特定施設 65　炭化水素洗浄機 （排水処理は業者委託）	製造部長	該当なし
高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵施設の届出、 定期自主検査、表示板、回路 の表示、保安教育等の実施。	貯蔵施設 ① LPGタンク ② 窒素ガスタンク	川俣　良輔	①-○ ② 該当なし
公害防止組織整備法	公害防止管理者等の選任と その届出。	公害防止統括者　宮川　高明 代理者　山田　幸秀 公害防止管理者　宮川　高明 代理者　山田　幸秀	総務部	該当なし
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者設置 産業廃棄物処理の委託先の実地 確認とその記録の保存	産業廃棄物管理責任者：山田　幸秀 委託先：静岡資源（㈱）　優良 委託先：紅産業㈱　年1回実施	製造部長	○
浄化槽法	定期清掃 定期法定点検	6ヶ月に1回清掃 年に1回実施	総務部	○ 2021年4月 23日 実施
労働安全衛生法	通知対象物質の現場への徹底 健康診断の徹底	現場への備え付け(MSDS) 年1回11月実施	製造部長 総務課	○
フロン抑制法	特定施設に関する 規制基準の遵守。	3ヶ月に1回点検記録 （簡易点検記録簿）	製造部長 三山　裕士	○

2. 更新時期
　　毎年6月に実施します。

3.　訴訟等の有無
　　環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの訴訟等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

Ⅸ．代表者による全体評価と見直し・指示

承認	作成
宮川昌	山田

作成　　2021　年　6 月　25　日

		項　目	確認	：（必要に応じて評価･コメント記載）
1・見直し関連情報	1	エコアクション21文書	■	：　特になし
	2	環境経営目標及び目標達成状況	■	：
	3	環境経営計画及び取組実施状況	■	：
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	■	：　遵守し違反は有りません
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■	：　外部より苦情は有りませんでした
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	■	：　なし
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部機関	■	：　なし
	8	その他（ 組織・実施体制 ）	■	：　変更なし
	全体評価･コメント（環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等）		水漏れによる影響があったように思われる。建築の老朽化に伴い、同様の事案が予想される。もう一度、住設備の見直しをエコの観点から見直して欲しい。廃棄物の削減にも苦慮している。雑品（紙資源など）の廃棄量の削減には、ある程度のペーパーレスの取り組みが必要。上手に機器を使い、発生する紙ごみの削減を試みたい。ガス、ガソリン、化学物質等の削減目標達成は技術的改善も有ると思う。高く評価出来る。	

		見直し項目	変更の必要性	指示事項及びコメント
2・代表者による全体評価・見直し指示	1	環境経営方針	無	
	2	環境経営目標･計画	有	環境経営目標は2021～23年まで目標設定
	3	環境経営計画･取組項目	無	
	4	環境に関する組織・実施体制	無	組織の体制変更なし
	5	その他のシステム要素	無	
	6	その他（外部への対応）	無	